



Photo by Hitoshi Tsukuda

上海万博記念 IT イベントに 伝説のロックミュージシャン「PANTA 氏」が参加

上海万博が連日盛り上がりを見せているが、中国の日系ITコミュニティが熱い。SEAが、上海などの都市で6月、イベントを行った。一連のイベントには、伝説のロックミュージシャン「PANTA氏」も参加。無錫ではライブも行われ、多くの観客を魅了した。

SEAが上海と江蘇省各地 でイベントを開催

ソフトウェア技術者協会(略称SEA)が去る6月22日、26日、上海万博を記念して上海、無錫、張家界と複数地を巡りながらフォーラム及びワークショップを開催した。世界博で盛り上がりつつある上海では、「無形労働価値とソフトウェアの技術移転」と題し、日本にUnixを紹介した伝説的なエンジニアであり、他にもアーティスト、詩人、作家など多彩な顔を持つ岸田孝二氏(SRA最高顧問)をはじめとする3名の講師がソフトウェアの技術移転の



実際や、無価値労働とオープンソースソフトウェアの潮流などをテーマに講演した。その後、講師を交えての討論会では、参加者との活発な意見交換が行われた。

24日の無錫のワークショップでは、オープンソースの研究で有名な、大阪市立大学中野秀男教授や、設計手法の第一人者、九州大学荒木啓二教授をはじめとする合計11名の発表者が、オープンソースの活用、ソフトウェアと社会、地域の活性化、グローバルプロジェクトマネジメントの事例、コミュニケーションなど多彩なテーマで発表を行った。

最終地の張家界では、グローバルテクニカルマネジメントや今後の技術交流をテーマに活発な意見交換が行われた。最高齢76歳で、平均年齢が60歳となる、まさに日本のIT産業の創世記から第一線で活躍を続けてきた一行は、大規模なインフラ投資でソフトウェア関連産業の育成に邁進する各地の施設や開発状況に感銘を受けつつ、今後のIT業界の未来について、幅広いテーマで万博以上に熱い討論を各地で繰り広げた。



24日の無錫のワークショップ終了後、今回オプザバーとして一行と行動を共にしたPANTA氏がイベントを記念してライブを行った。PANTA氏は、ロックミュージシャンとして40年間、時代の最先端を走りつづけるバンド、頭脳警察のリーダーであり、コマースィアルソング、楽曲提供など多彩な音楽活動を続ける。会場となった無錫新区のライブハウスでは、アコースティックギターをアンブにつないだシンフルなスタイルで1970年代から昨年までのヒット曲を演奏したPANTA氏のライブに、イベント参加者以外にも地元元の中国人、欧米人も含め、50名ほどの観客が熱狂した。